

旧東海道・川崎宿

日 時：12月15日（土）9:00～9:15 集合

コース：JR川崎駅（WC）→妙遠寺→稲毛神社→六郷の渡し跡→万年屋跡→田中本陣跡→川崎宿交流館（WC）→一行寺→宗三寺→佐藤本陣跡→芭蕉の句碑→京急八丁畷駅（WC）：解散12:30頃〔徒歩約6km〕

No	見 所	由 来 ・ 史 跡
1	妙遠寺	日蓮宗、本尊は髭曼荼羅。二ヶ領用水を完成させた小泉次太夫の開基、日蓮宗本山・妙本寺から招いた日純上人が開山。元は砂子（現川崎市役所前辺り）にありましたが、区画整理のため、昭和27年（1952）に現在地に移転しました。
2	稲毛神社	平安時代河崎庄の鎮守。河崎山王社、または堀之内山王権現と呼ばれていました。幕末に鎮座地の地名をとって稲毛神社となりました。境内には歴史的記念物が多くあり、宮座式などの伝統神事が引き継がれています。
3	六郷の渡し跡	慶長5年（1600）に架けられた六郷大橋が貞享5年（1688）の大洪水で流されて以来、明治7年（1874）まで渡し舟で多摩川を渡っていました。明治天皇が初めて江戸に入る際は、舟の上に板を並べた臨時の舟橋の上を、鳳輦に乗った天皇の行列が渡りました。
4	万年屋跡	川崎で一番大きな茶屋。「万年」の名物だった奈良茶飯は、「東海道中膝栗毛」の物語中で、弥次さん喜多さんも食べたほど有名でした。やがて宿泊もまかなうようになった万年屋には、幕末には大名や駐日総領事のハリスなども宿泊しました。
5	田中本陣跡	田中休愚は、宝永元年（1704）に本陣職を継ぎ、後に名主・問屋役を兼帯。困窮していた宿の財政を幕府の助成金と、渡船請負権を得て立て直した。
6	東海道 かわさき宿 交流館	平成25年（2013）に開館。1階は旧道の散策・町歩きの人たちが立ち寄って休む場となっており、2・3階には、川崎の歴史文化を学ぶことのできる展示があり、4階は、集会室です。月曜日休館。9時～17時。
7	一行寺	浄土宗、本尊は阿弥陀如来座像。寛永8年（1631）、矢向の良忠寺頭譽円超上人が開山となり、念仏道場として創建された。別名「閻魔寺」といわれ、閻魔大王像があります。
8	宗三寺	曹洞宗の寺で鎌倉時代創建。勝福寺が前身と言われています。境内には遊女の供養塔と墓石の頭部中央に「烏八白」という、いまだ意味が解明されていない文字が刻まれた、墓石があります。
9	佐藤本陣跡	別名、惣左衛門本陣。幕末に14代将軍家茂が京に上る際に宿泊しました。明治23年（1890）にこの家に生まれた詩人佐藤惣之助は、大正から戦前に活躍。「六甲おろし」「青い背広で」「人生劇場」など、今でも親しまれている歌の作詞をしました。
10	芭蕉の句碑	「麦の穂を たよりにつかむ 別れかな」元禄7年（1694）5月、故郷伊賀に向かった芭蕉が、見送りにきた門人たちと川崎宿のはずれで別れを惜しんで詠んだ句が刻まれています。関東での芭蕉最後の句で、作吟地に立てられた碑として大変貴重なものです。

本コースは、道幅・歩道が狭いです。横に広がらないようにご協力お願いします。

＜次回案内＞ 八福神巡拝 半日コース（四福神 約 6km）

一日コース（八福神 約 9km）

平成31年1月5日（土）相鉄線 瀬谷駅北口 9時～15分受付

会員募集中 ・ せや・ガイドの会 竹見 ☎ 045-302-3663

ホームページ 「せや・ガイドの会」 [検索] <http://www7b.biglobe.ne.jp/~seya-guide/index.html>